愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	教育史		
担当者(Instructors)	吉川 卓治	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、近現代日本における教育の歩みを、模索期、成立期、確立期、展開期、戦時期、戦後期の六つに時期区分し講義形式で概説する。模索期では幕末から維新期の動向を扱う。成立期では「学制」から森文政期までを講じる。確立期では第2次・第3次小学校令を扱い義務教育の成立過程を中心に論じる。展開期では大正期の教育改革を説明し、戦時期では国民学校など、戦後期では教育基本法・学校教育法とその下での新学制の成立からその後の展開について説明する。　なお、質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業は講義形式で行なう。パワーポイントを用いてスライドを映し、内容について解説をしていく。資料プリントを配布することがある。適宜教科書を参照する。毎回授業の最後に小テストを実施し、授業内容を理解しているか確認する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業の目的、概要、到達目標、事前・事後学習、成績評価の基準、評価方法、テキスト、参考文献について概説する。	□
第2回	武士の学校／庶民の学校―模索期	近世社会の特徴、近世の学校（寺子屋、藩校、昌平坂学問所、塾）についてその特徴を説明する。	□
第3回	立身出世をめざす教育―成立期（１）	1872年に発布された「学制」の成立過程、理念、内容、特徴および同時期の教育状況を説明する。	□
第4回	学校なんかいらない―成立期（２）	1879年の「教育令」の制定と教育状況およびその改正について社会や家庭の教育要求の観点から説明する。	□
第5回	暗殺された文部大臣―成立期（３）	初代文部大臣の森有礼についてその思想と彼の行なった教育改革について学校令を中心に説明する。	□
第6回	教育勅語の登場―確立期（１）	教育勅語の成立過程と内容について説明する。	□
第7回	学級の誕生―確立期（２）	地方自治制度の整備とそれにともなって1890年に出された第2次小学校令の内容と特徴、その素で生まれた学級制について説明する。	□
第8回	義務教育のはじまり―確立期（３）	1900年の第3次小学校令によって成立した義務教育制度の内容と国定教科書制度、教育年限の延長について説明する。	□
第9回	大正デモクラシーと教育改革―展開期（１）	大正期に政府によって設置された臨時教育会議での審議内容とそれに基づく教育改革について説明する。	□
第10回	トットちゃんはどう育ったか―展開期（２）	大正デモクラシーの影響を受けて展開された新学校での実践と思想について家庭や社会の動きを押さえつつ説明する。	□
第11回	資本主義と働く子ども―展開期（３）	資本主義の成立と児童労働との関係および児童労働を制限しようとする法令の制定について説明する。	□
第12回	戦争と教育―戦時期	1930年代における戦時体制への移行と教育審議会、教育刷新評議会について説明し、青年学校令および国民学校令の制定とその内容を説明する。	□
第13回	戦後教育改革―戦後期（１）	1945年の四大教育指令、第一次米国対日教育使節団報告書、教育基本法、学校教育法について説明する。	□
第14回	教育はどうかわったか―戦後期（２）	地方教育行政と学習指導要領を中心に戦後教育の展開について説明する。	□
第15回	授業のまとめ	授業の内容をまとめる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：２時間程度の時間をかけ毎回の授業内容に対応するテキストの章・節を読んでおく。 事後学習：２時間程度の時間をかけて、授業時にとったメモと教科書を参考に、資料プリントを使って授業の内容をノートに整理する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の小テストは解答例を提示します。 期末の筆記試験は解答例を提示します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	教育の歴史・概念・思想に関する基礎的な知識を明瞭な文章で説明できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	授業で提示された内容をノートに取り、学習内容を振り返って再現することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
70%				30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回授業の最後に小テストを実施する。これにより授業の出席とみなし、内容を理解しているか確認し出来ばえによって評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	江藤恭二監修『新版　子どもの教育の歴史』名古屋大学出版会、2008年	978-4-8158-0586-9
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	加藤詔士ほか編『西洋世界と日本の近代化ー教育文化交流史研究ー』大学教育出版、2010年	
2	久保義三ほか編『現代教育史事典』東京書籍、2001年	
3		
4		
5		